

☆被災地の歴史資料・文化財の保全、震災の経験の記録化と保存!!
 ☆幅広いネットワークづくりを通じて、歴史・文化を復興に活かす!!
 ☆被災地から全国へ、歴史学と社会をめぐる普遍的な課題へ!!

史料ネット NEWS LETTER

第10号 1997年10月27日(月)

発行 歴史資料ネットワーク(神戸大学文学部内)
 TEL078-881-1212(内線4079), FAX078-803-0486

目次	次
「清盛と福原京の時代」成功裡に終わる… 1	新聞記事より…………… 5
参加者の感想文から…………… 2	神戸市に要望書提出/文献情報…………… 6
ボランティアの市民講座参加記…………… 3	「猪名荘遺跡を学ぶ会」学習会のご案内…………… 8
	“News Letter” 郵送購読受付のお知らせ…………… 8

第7回市民講座「清盛と福原京の時代」、成功裡に終わる!!

震災復興・歴史と文化を考える市民講座(第7回)

「清盛と福原京の時代 被災地神戸の歴史をふりかえる」

日時 1997年9月13日(土)午後1時～5時
 場所 神戸市東灘区・御影公会堂
 主催 阪神大震災対策歴史学会連絡会(歴史資料ネットワーク)
 共催 神戸史学会
 後援 神戸市教育委員会、兵庫県教育委員会

講演 「平家物語の時代と神戸」 永井路子氏(作家)
 関連報告 「福原京の再現」 足利健亮氏(京都大学教授、歴史地理学)
 「地中から語る清盛の時代」 須藤 宏氏(神戸市教育委員会学芸員)
 スライド「清盛の時代と現代をつなぐ」 史料ネット
 パネルディスカッション 講演者・報告者その他

参加者 462名 募金総額 7万904円 記録集等売り上げ 1万4,800円

★今回は、来場者の皆さんに募金をお願いし、多くの方からご協力をいただきました。
 ☆永井さんはじめ、ボランティアとしてご協力いただいた講師の方々、ならびに募金にご協力いただいた皆さまに、お礼申し上げます。どうもありがとうございました。

去る9月13日(土)、震災復興・歴史と文化を考える市民講座(第7回)が、神戸市東灘区の御影公会堂で開催された。ファッションな近代都市というイメージを押し出して、文化遺産のリストラを強めようという震災後の動向に対し、「清盛と福原京の時代」をテーマに、神戸の前近代史が持つ魅力を市民にアピールしようというのが、今回の目的である。作家の永井路子さんがボランティアで来演するとあって、参加申し込みが殺到。やむなく往復ハガキによる抽選となった。

まず導入として、「清盛の時代と現代をつな

ぐ」と題するスライドを上映。地元で「清盛塚」と呼ばれている鎌倉後期の十三層石塔をはじめ、市内に残る文化遺産をおりまぜながら、史料ネットの活動や古代～近代の神戸の歴史を概観した。

続いて「平家物語の時代と神戸」と題する永井さんの講演。女性にポイントをおきながら清盛の人脈や経済基盤が、イメージ豊かに語られた。特に海上輸送に象徴される民間活力を政権に直結しようとした福原京の構想が、頼朝の鎌倉、家康の江戸に継承されたというユニークな

(2頁に続く)

史料ネット活動支援募金 (郵便振替)
 名義 阪神大震災対策歴史学会連絡会 口座番号 01090-7-23009